

令和6年度
学校関係者評価委員会
報告書



学校法人 九州文化学園
九州文化学園調理師専門学校

I. 令和6年度 学校関係者評価委員会 開催概要

1. 第1回学校関係者評価委員会

1. 日 時 令和6年8月22日(火) 15時30分～16時30分

2. 開催場所 九州文化学園調理師専門学校 1階 集団給食試食室

3. 出席者

【学校関係者評価委員】

富重 正美 様 (佐世保市食品衛生協会監事)
田中 雅弘 様 (全日本司厨士協会長崎県本部佐世保支部長)
草場 夏江 様 (西海割烹調理士紹介所 所長)
山本 久美 様 (長崎県立北松農業高等学校 生活学科主任)
平田 安喜子様 (長崎短期大学地域共生学科 製菓コース長)

【委員会事務局】

大坂 良一 (九州文化学園調理師専門学校 校長)
鴨川 多鶴子 (九州文化学園調理師専門学校 教務主任)
野口 智子 (九州文化学園調理師専門学校 教員)
北原 幸 (九州文化学園調理師専門学校 教員)
當房 有紗 (九州文化学園調理師専門学校 教員)

4. 議事

- (1)学園沿革史 (2)本校設置目的及学校教育基本方針(教育理念)
- (3)令和6年度学校教育目標・重点努力目標
- (4)職員一覧、学生在籍数、出身校一覧 (5)学生募集
- (6)出席状況 (7)インターンシップ (8)資格取得状況
- (9)求人・就職状況・就職先 (10)令和6年度事業計画
- (11)令和6年度行事予定
- (12)質疑応答

5. 評価委員からの質問・意見

- ・休学者数と在籍数についての質疑応答
- ・特別に配慮を要する学生数とその様子およびスクールカウンセラーの動きについて
- ・高卒で調理関係の職に就いた人の離職について
- ・学費について

2. 第2回学校関係者評価委員会

1. 日 時 令和7年2月3日(月) 15時30分～17時00分

2. 開催場所 九州文化学園調理師専門学校 1階 集団給食試食室

3. 出席者

【学校関係者評価委員】

富重 正美 様 (佐世保市食品衛生協会監事)
田中 雅弘 様 (全日本司厨士協会長崎県本部佐世保支部長)
草場 夏江 様 (西海割烹調理士紹介所 所長)
山本 久美 様 (長崎県立北松農業高等学校 生活学科主任)
平田 安喜子様 (長崎短期大学地域共生学科 製菓コース長)

【委員会事務局】

大坂 良一 (九州文化学園調理師専門学校 校長)
鴨川 多鶴子 (九州文化学園調理師専門学校 教務主任)
北原 幸 (九州文化学園調理師専門学校 教員)
當房 有紗 (九州文化学園調理師専門学校 教員)

4. 議事

令和6年度報活動報告および自己評価について

- (1)教育活動 (2)学生の支援活動 (3)学生募集・広報活動
- (4)教職員の人材開発 (5)ステークホルダーとの連携強化
- (6)学園内の連携促進 (7)SDGsの推進 (8)管理運営と業務・経費効率化
- (9)施設設備システム等の環境整備 (10)点検評価
- (11)自己評価結果(学生) (12)自己評価結果(職員)
- (13)質疑応答

5. 評価委員からの質問・意見

- ・インターンシップと就職先の関係について
- ・オープンキャンパスへの数回参加者について
- ・ハラスメントの講義について
- ・高校生の学習評価の方法について
- ・自己評価の感想

II. 学校関係者評価委員による評価および感想・助言

評価基準：4：十分達成している 3：達成している 2：あまり達成されていない 1：ほとんど達成されていない

全体体評価 3.8

1. 教育活動	評価	3.2
2. 共学組織の新設・募集停止・改組・定員管理等	評価	2.8
3. 学生の支援活動	評価	4.0
4. 学生募集・広報活動	評価	4.0
5. 教職員の人材開発	評価	3.6
6. ステークホルダーとの連携強化	評価	3.2
7. 学園内の連携促進	評価	3.8
8. SDGs の推進	評価	4.0
9. 管理運営と業務・経費効率化	評価	3.8
10. 施設設備システム等の環境整備	評価	4.0
11. 点検評価	評価	4.0

【評価委員より、全体を通しての意見・感想】

- ・学生の自己評価では、2年生より1年生の満足度が低いように感じます。全員無事に卒業できるようご指導お願いいたします。
- ・外部との連携や情報発信等よくなされていると思います。参考にさせていただきたいと思います。
- ・「食」に関わる人材育成は大切ですが、どうも人気に陰りが見え苦境に立たされています。その中で、少ないスタッフでの運営は大変だと思います。今年度最終回のメランジェに参加し、学生の態度から教育が行き届いていることがわかりました。
- ・入学してくる学生の質が変化していく中、付与される資格について再検討されることも今後必要になるかと思っています。